

「ECO2 プロジェクト」対象行動への「食品ロス削減」取組項目の追加について

1 目的

市内事業者が省エネ行動に取り組む事業「ECO2 プロジェクト」の対象行動に「食品ロス削減」を追加する。事業者及び従業員に対し、食品ロス削減を啓発するとともに、食べ残し削減を実践していただくことで、市内の一般廃棄物総量の削減につなげる。

2 背景と課題

これまで本市の食品ロス削減施策は、広報や施設見学等での周知啓発が中心で、削減を促す積極的な施策が乏しかった。市の一般廃棄物は減少傾向にあるが、更なる削減には食品ロス対策の強化が課題である。

また、今年度改訂の「柏崎市一般廃棄物処理基本計画」で、令和 17（2035）年度に現状比 22%削減という目標を掲げた。この高い目標を達成するため、新たに「食品ロス削減推進計画」を位置付け、食品ロス削減を促進することとした。

計画に基づき、単に食品ロスを「もったいない」と知っている段階から、実際に「減らす」という実践につなげるため、行動の可視化・評価の仕組みを取り入れ、定着を図ることが不可欠である。

3 取組内容

「ECO2 プロジェクト」の対象行動に、事業所と従業員（家族含む）の取組を追加。

(1) 期間 10 月（食品ロス削減月間）中の任意の 1 週間

(2) 内容

ア 事業者での取組（別紙参照）

(ア) 3010 運動、災害用備蓄品の在庫確認・活用などを実践。

(イ) 一週間の取組終了時に評価と感想を記入。

イ 従業員（家族含む）の家庭での取組（別紙参照）

(ア) 買い物、調理、外食時の工夫など、具体的な削減アクションを実践。

(イ) 1 人 1 日当たりの食品ロス発生量を 100 g と推計する。

(ウ) ロスを 4 つの性質（期限切れ、直接廃棄、食べ残し、過剰除去）に分類し、家族全員の行動を一律評価する。

(エ) 一週間の取組終了時に評価を行い、食品ロス削減量や CO2 削減効果を数値で可視化し、感想を記入。

(3) 付与ポイント

ア 参加によるポイント 5, 0 0 0ポイント

イ 事業者での取組に参加 1, 0 0 0ポイント

ウ 従業員（家族含む）の家庭での取組に参加 1 0 0ポイント×参加従業員人数

エ 付与ポイントの上限 上記ア～ウの合算した付与ポイントの上限は 1 0, 0 0 0ポイント

4 期待される効果

(1) ごみの減量

全取組の完全実施で、1 人週 700 g の一般廃棄物が削減可能。「燃やすごみ」に含まれる生

ごみを減らし、処理コスト削減と環境負荷低減を図る。

(2) 行動変容

ポイント付与等のインセンティブにより、事業所が楽しみながら取り組む動機付けを行う。

(3) SDGs の達成

SDGs 目標 12「つくる責任 つかう責任」の実践例として、市の環境施策の充実を図る。